

## 平成31年度 行政評価事業別シート

	<b>実計対象</b> ■	<b>評価対象</b> ■	<b>新規</b> □	<b>完了事業</b> □	<b>ゼロ予算事業</b> □	<b>担当者</b>	神林久雄
	<b>全体計画</b>			<b>経費区分</b>	<b>実施計画事業費</b>	<b>内線</b>	3522
<b>事務事業名</b>	4913 調査・計画策定事業						
<b>所 属</b>	200200 まちづくり推進部・まちづくり課						
<b>施 策</b>	06013000 土地の有効利用の推進						
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計					
	<b>科目</b>	080401 土木費・都市計画費・都市計画総務費					
	<b>事業</b>	030000 調査・計画策定事業					
<b>事業目的</b>				<b>事業概要・効果</b>			
須坂市都市計画マスタープランの基本理念・基本構想に基づき、都市計画道路や都市公園等の都市基盤整備を図り、第五次総合計画に盛り込まれた『みんなが快適に生活できるまちづくり』を推進するため、調査、計画策定を行う。				都市計画制度による秩序ある開発の維持・促進と健康で文化的な都市生活及び機能的な都市活動が確保される。			

### PLAN-DO

#### 年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
都市計画道路、用途の都市計画変更決定 都市計画法34条11号の区域指定（日野、豊洲、日滝） 須坂長野東インターチェンジ周辺地区の開発を推進するためプロジェクトチームを設置した。	都市計画法34条11号の区域指定 第7回線引き定期見直しに向けた調査研究 長野都市圏総合都市交通体系調査の実施 インター周辺開発の推進
平成29年度 実績	平成30年度 実績
1. インター周辺開発の推進 2. 須坂市都市計画マスタープランの見直し 3. 地区計画（五閑地区）の検討 4. 長野都市圏総合都市交通体系調査の実施 5. 都市計画基礎調査の実施	1. インター周辺開発の推進 2. 須坂市都市計画マスタープランの見直し 3. 地域未来投資促進法に基づく土地利用調整計画の策定 4. 地区計画（井上福島地区）の検討
平成31年度 予定	令和2年度 予定
1. インター周辺開発の推進 2. 須坂市都市計画マスタープランの見直し 3. 地区計画（井上福島地区）の検討 4. 区域区分の見直し 5. 都市計画基本図の修正	1. インター周辺開発の推進 2. 地区計画（井上福島地区）の決定 3. 区域区分の見直し 4. 都市計画道路の見直し

指標名	都市計画審議会で審議を行った都市計画決定、変更、廃止の累計件数						
算式	1					単位	件
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度		
目標値	目標	1	1	1	1	1	
	実績	0	1	0			
指標選定の理由	都市計画区域区分、用途地域、都市施設について決定を行うには審議会への諮問が必要なため。						
最終年度目標の根拠	都市計画の見直し状況に合わせた都市計画審議会にて決定、変更、廃止をおこなった審議議案の累計件数						
指標名							
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成30年度 決 算	平成31年度 予 算
事業費		300	53,744
特定 財源	国庫支出金	0	5,000
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	18,000
一般財源		300	30,744
人員数 (人)	正規職員	1.4	1.4
	嘱託職員	0.3	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員 コスト	正規職員	10,010.0	10,010.0
	嘱託職員	862.5	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	10,872.5	10,010.0
市民一人当たりの経費		0.2	1.2
総額		11,172.5	63,754.0

(単位：千円)

平成30年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	160	都市計画マスタープラン策定委員謝礼160
11節 需用費	0	
13節 委託費	139	都市計画変更等業務委託139 都市計画マスタープラン一部修正業務委託9,862 (H31へ繰越)
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	2	長野都市圏総合都市交通体系調査負担金2
その他	△1	

(単位：千円)

平成31年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	53,470	都市計画変更等13,990 都市計画基本図修正39,480 都市計画マスタープラン等作成9,862 (H30繰越明許費)
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	274	都市計画マスタープラン策定委員謝礼65 通信運搬費(郵便料)45 IC周辺開発に伴う関係機関協議のための旅費164

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果(施策の目指す理想)に結びついているか</li> </ul>	必要不可欠
評価コメント	市が実施しなければならない必要不可欠な事業である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	大変有効
評価コメント	須坂市の土地利用や交通計画など市の課題解決につながっている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	効率を追求する事業ではないが、生産性の向上につながる計画の立案や土地利用の在り方に努めていく。	

振り返り(決算年度の取組み課題)

都市計画マスタープランの改定に関しては、翌年度への繰越となったが、市民の皆様や検討委員会からのご提言を多数いただき、改定案に反映させるための丁寧な対応に多くの時間を費やしたため、事業を繰り越すこととした。事業自体は順調に進めることができている。

**ACTION**

**1次評価**

**2次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>インター周辺の開発を含め、必要な開発を誘導するために須坂市都市計画マスタープランの見直しなど須坂市の土地利用変更に向けた計画の策定を進める必要がある。</p>		<p>インター周辺の開発に伴う、地区計画の策定や市街化区域の編入、伝建指定に合わせた都市計画道路の見直しなど、都市計画の見直しを今後も進める必要がある。</p>	

**外部評価**

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	